イントを商品券と交換できる 献することを奨励し、このポ 社会参加する活動に対してポ 定的な運営を図ってまいりまと改善に取り組み、事業の安高血圧など生活習慣病の予防 て取り組んでまいります。の育成を図るための事業としする住民意識の高揚と、人材 者が、ボランティアを通じて保険者である65歳以上の高齢 し、取り組んでまいります。期高齢者医療広域連合と連携 た。 とした対策が図られてきましれまで保険料の軽減をはじめ す T, は、 位置づけ、ボランティアに対ント付与制度の対象者として 特典の付いた制度として創設 運営主体であります北海道後 との改定時期となりますので 指導の実施により、 保険者に対しましても、 事業」に取り組み、 してまいります。 また、 国民健康保険事業について 後期高齢者医療事業は、こ 本年度、 特定健康診査、 生活習慣病予防対策とし 65歳未満の第2号被 保険料が2年ご 平成26年度教育 糖尿病や 第1号被 ポイ 加などにより、全国的に介護各種介護施設の都市部での増介護福祉分野においては、 検討し、 いて取り組んでまいります。保に向けた具体的な方策につ に多くの町民の方々に利用さ 事業の中核施設として日常的 課題と対策について、早急に 況を検証し、事業者が抱える 介護サービス事業者の運営状この現状を踏まえ、本町の 難な状況を迎えております。 員などの人材確保が非常に困 も介護福祉士や介護支援専門 題化しており、 現場での従事者不足が社会問 れています。 保健福祉センターは、福祉 平成26年度予算 特に人材の育成、 本町において 小学校の閉校式

れましたので、耐震診断を実ついても耐震診断が義務化されており、昨年施行された耐 施し、診断結果に基づき、今れましたので、耐震診断を実 れており、昨年施行された耐画上「福祉避難所」に指定さ 後改修計画を策定し取り進め てまいります。

まちづくり」であります。 次に、 「安全・安心・快適な 生活基盤・生活環境

地域基盤の整備

的な整備と適切な維持管理が 重要な社会基盤であり、 地域経済や社会活動を支える道路は、住民の日常生活、 必要であります。 計画

点検のため、路面性状調査を装工事及び幹線道路の老朽化幾寅西公営住宅団地内線の舗しトナシベツ線の歩道新設、東幾寅線の道路拡幅改良、金 行ってまいります。 業用機械の大型化に対応した、近年の農産物搬出車両や農

各学校卒業式

IJ

 $\mathcal{O}$ 

お

カメラレポート

教育委員会通信

支援センター子育て

10月雪害でみなくるに避難

## りバスを新たに配置し、本格を可能とするために、10人乗の多様なニーズへ柔軟な対応 証し、 域の公共交通の確保維持に係町営バスについては、「地 だれでも」使いやすく、 る計画」の実証実験結果を検 町営バス 「いつでも、 どこでも、 住民 新規導入された除雪車

運行に移行してまいります 続してまいります。 槽設置整備に対する助成を継 の同上のため、合併処理浄化の環境保全と、快適な住生活 下 理能力を保持してまいります の適正な維持管理により、 また、 適正な維持管理により、処小処理場をはじめ、各施設

公共下水道区域以外

## 及び金山団地6棟14戸の解体工事と、幾寅東団地3棟12戸団地7棟14戸の換気設備改修 屋根外壁塗装、幾寅しらかば 工事を行ってまいります。 幾寅グリ 寅グリーン団地6棟12戸の公営住宅の整備については

## 簡易水道事業

## 公共下水道事業

公共下水道事業については

合理的、 全を期してまいります。配慮し、生活用水の確保に万 給することが必要です。適切 な施設の維持管理にあたり、 簡易水道事業は、 かつ効率的な運営に

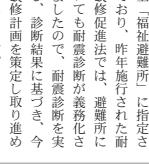
水を、常に安全で安定的に供活に欠くことのできない飲料簡易水道事業は、日々の生

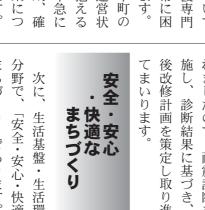
HTR407

# 除雪体制の充実

住宅環境の整備

ただくため、住民皆さまの声厳しい冬を快適に過ごしてい町道の除排雪については、 を反映できる業務体制を構築 してまいります。







# 南プミニドック

## 医療体制の充実

場所で、 提供体制の実現にあたり、 き続き医師2名体制を維持し、 るために不可欠な社会基盤で あります。安定した地域医療 医療は、町民が住み慣れた 安心して暮らし続け 引

> 業計画を策定してまいります。 向を見極め、次期3年間の事 業の見直しなど、法改正の動 要支援者に対する介護予防事 成26年度で終了することから、 第5期介護保険事業計画が平 介護保険の地域支援事業に 保険・医療の充実 介護保険事業については、



幾寅記

サービスに対する支援及び、山をモデル地区として、買物新き、高齢化率カ最も高い金 いて指導してまいります。 障がい者福祉の充実

いります。 し、地域で安心して暮らして 高齢者の見守り支援充実のた 集落支援員の配置を継続 サービス計画作成が義務づけ 相談支援事業制度が新たな体障がい者福祉については、 制に移行し、平成26年度まで

た、商品券配付事業を継続し 該当する低所得者を対象にし やひとり親世帯で一定条件に 経済的支援としては、高齢者 冬期間の増嵩経費に対する

てまいります。

所得者へ、暫定的・臨時的な消費税の引き上げに対し、低

 $\mathcal{O}$ 事業が必須事業となりました られ、成年後見制度利用支援 \_ ので、関係機関と連携を図り、

保健事業の充実

保健事業については、 生活

は、

「介護支援ボランティア

おける新たな予防事業として

層の障がい者福祉サービス 充実に努めてまいります。





ます。

業を引き続き推進してまいり の介護予防事業・生活支援事 ビス、

福祉移送サービスなど

安心して住み続けていただけ

高齢者福祉対策については

高齢者福祉等の充実

るよう、生きがいデイサービ

Ø

ス、配食サービス、

除雪サー

公平公正の立場で地域福祉事民の生活課題に応えるため、 業を推進し、これまで在宅福 祉事業の多くを実施いただい 社会福祉協議会は、地域住

町政執行方針 行政執行方針 平成26年度 平成26年度 平成26年度教育	平成26年度予算	小学校の閉校式	各学校卒業式	について	カメラレポート	マイホーム	発信@みなくる
事業では、子育て親子の交流	ておりますが、広範囲な事業		措置として国が実施します		習慣病の予防として、南プミ		歯科診療所を含めた医療体制
の場の提供や育児相談などの	規模となっており、本	、本来担う 「臨	臨時福祉給付金」及び、	子	ニドックを継続して実施して		の提供と地域事情にあった診
各種事業を推進し、地域に出	べき事業に集中することがで	育	て世帯への負担増を緩和し、	し、まいります。	よす。	療体制を構	療体制を構築してまいります。
向いた支援活動を展開してま	きるよう、事業量の軽減を図	消	費の下支えを図る「子育て		なお、年2回の集団健診を	また、	休日、夜間の一次救
いります。	るべく、介護予防事業の一部		世帯臨時特例給付金」につい		受診できない方に対しては、	急及び専門	急及び専門的な高度医療につ
放課後児童クラブは、女性	について、町内NPO	O法人の て、	適切に給付が図られるよ		町内診療所の協力を得て個別	別 きましては、	、富良野協会病院
の就労の増加や少子化が進行	活用など、新たな介護に	携わ	う取り組んでまいります。	健診を奨励	奥励し、住民の利便性		との病診連携を進めてまいり
する中、仕事と子育ての両立	る担い手育成を進めてまい	り 	冷音再差団へりを受	と受診率	平の向上を図り、受診	彩 ます。	
支援、児童の健全育成対策と	ます。		高歯者写美団への支持	後の個別	後の個別保健指導等の実施に		
して重要な役割を担っていま	単身高齢者や高齢者のみの		高齢者事業団については、	い、より、町	可民の健康づくりに取	収	
す。4月からの南富良野小学	世帯が増加している中、	支援高	齢者の能力や経験を生かし、		り組んでまいります。	C RITE	
校開校にあたり、北落合及び	が必要な方々に対し、	互助・ 仕事	事を通じて生きがいの充	実		The second se	師
落合地区からの通学児童も対	共助の仕組みにより、地域の		や社会参加、健康づくりを図	I		1	日本
象とし、運営経費の全額補て	実情に応じ地域で支えていく		るという設立目的を踏まえ、			Che she	た。稲
んを行ってまいります。	ことが重要であります。	引き	引き続き、必要な経費を助成	?成	7	Time	原所
	一売き、「一方合化」というし、こううい」と		するとこうこ割日く重営こう	50			一月

広報みなみふらの 2014.4 6